

2015/7/12

**多文化共生理解講座「三木市の外国人住民と異文化交流をしよう!!!
～タイ・ロシア・ペルー・中国～」に参加して**

A81 小林 伶子(英会話クラス受講生)

「異文化交流に参加しよう!」という魅力的な言葉に惹かれて参加し、気分はまるでミニ世界旅行!グループごとに国を巡る方法で、各ブースで流暢な日本語によるお国紹介を楽しみました。

私たちのグループの最初は中国。可愛いパンダの写真を見ながら、熊猫と書くのだと感心したり、佟愛春さんの説明を聞きながら中国の春節と日本の正月と重ねて見たり…。

次は、タイについて中尾プラパッソンさんが、生まれた曜日によりラッキーカラーがあるなどいろいろと紹介してくれました。彼女は、昨年度の「国際料理教室」で餃子作りと一緒に楽しかった方なので、とても親しみを持って聞きました。

ロシアの黒田タチアナさんは、故郷のウラジオストックの話をしていただき、遙かなシベリアの地に想いを馳せました。

最後は、民族衣装に身を包んだ熊川春美さん達からインカ文明やマチュピチュのナスカ文明の歴史にまでさかのぼらせてもらいました。

小グループに分かれて各国を回った後に皆で分かち合う形で、大変楽しかったです。



(左から) タイ、中国、ロシア、ペルー(日本語クラス受講生)

A1463 中尾 プラパッソン(タイ出身・在日10年)



【中国】佟 愛春さん



【ペルー】
熊川春美さん、
ジェラルディンペレスさん

私が参加している日本語教室の先生から「自分の国について紹介してください」と言われたとき、何を、どのように紹介すればよいのかが頭に浮かびませんでした。できるかな…と不安に思いましたが、家族も手伝ってくれそうで、やってみることにしました。いざ、はじめてみるとどの写真を使うか、大きさは? 画用紙には貼っていいのかな。これでわかるかな? といろいろと迷いました。なかなかよい写真がなく、インターネットで探したりしました。

当日、思っていたより多くの人がきたので、緊張しました。でも、クイズもあったので、楽しみながらできました。来ている人は、外国人に興味のある人ばかりなので、みんな一生懸命聞いてくれて嬉しかったです。他の人の発表も少し見ることができ、私も勉強することができ、とてもよかったです。

準備はたいへんだったけれど、終わってみるとやってよかったと思いました。



【タイ】中尾プラパッソンさん



【ロシア】黒田タチアナさん

Kid's English in Miki ~こども英会話と英語暗唱大会~

“The Earth is home to us all. Let's take care of the earth!”

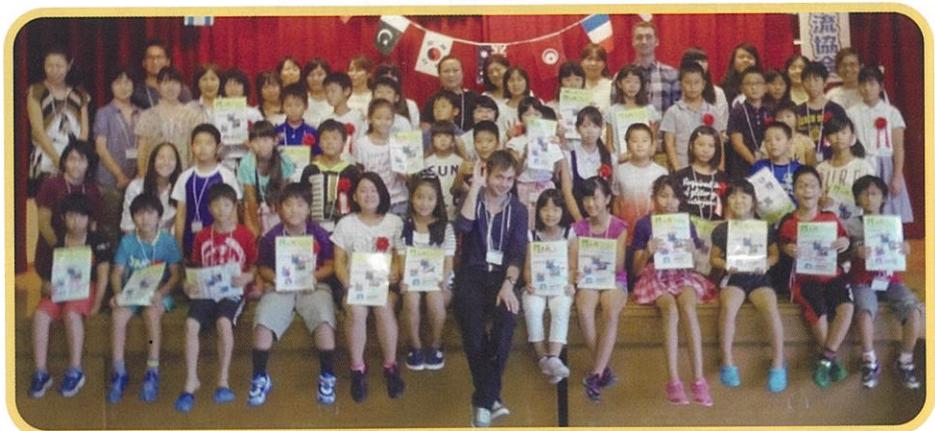
「地球はみんなの故郷。地球を大切しよう！」

夏休みの最終土曜日、三木市立中央公民館において三木市教育委員会と共に開催されたKid's English。40名の小学生の英語活動を支援してくださったのは、この事業に長く携わっていただいている小学生英会話サークル講師などの会員の方々や5名の外国語助手、県立三木高校と神戸市立葺合高校の国際科に在学する女子高生5名でした。

テーマは「動物と自然」。関連単語を耳から入れ、アクティヴィティで定着させ、アウトプットで仕上げる狙いですが、まずはシンプルな定番のじゃんけんトレインで、会場を盛り上げました。続いて、ジェスチャーゲームやブースを回るスタンプラリーで動物や場所の単語を学習し、I部の最後はリズミカルな*チャンツを練習しました。 *チャンツ…詠唱する

II部は英語暗唱大会。出演者たちは出番直前まで、不得意なフレーズを小声でつぶやき、緊張の面持ちでしたが、檀上ではストーリーの場面ごとに表情を変えたり、ジェスチャーをつけたりと堂々と発表しました。夏休み中の練習の成果が表れ、出演者19名は、満足げな表情を浮かべていました。

最後に全員で記念撮影とハイファイブでお別れしました。ALTや高校生ボランティアという身近なお手本と接する中で、子どもたちが英語に興味を持ち、英語好きになる一歩を踏み出したことでしょう。



[Kid's English]に参加して

**A1556 野田 晶子
(英会話クラス受講生)**

キッズイングリッシュのサブリーダーとして、初めて参加させていただきました。さすが、最近の子ども達、“dog(犬)”や”snake(蛇)” ”elephant(象)”の単語は朝飯前です。しかし、クイズの中で“owl [aul] (ふくろう)”が出てきた時、子ども達の目つきが変わりました。ALTが発音するたびに、子ども達も真似して発音し始めました。知らないことを覚えたいという気持ちが、無意識のうちにそうさせたのではないかでしょうか。

たくさんのアクティヴィティの中でも「たぬきって英語で何?」「英語でどう聞いたらいいいの?」英語で話したい欲求はどんどん高まってきた。ランチタイムになると「Can I have bread, please?」(パンをもらえますか。)など、少しかっこ良くなった自分に満足そうでした。このような貴重な体験を子ども達に与えてくださった方々に感謝致します。

「こども英語暗唱大会」に出場して

緑が丘小学校6年 前田 晴加

英語の暗唱大会があると聞いて、すぐに出場したいと思いました。コンテスト形式で、賞があるというので、賞を取りたいなあと思いました。

練習もたくさんしました。賞が欲しいと思って頑張ったのですが、発表している途中で、それだけではない気持ちがわいてきました。気持ちが良かったですし、自信もわいてきました。その結果として賞をいただけました。とってもうれしかったですが、それだけではない“やったあ！”という思いがありました。

小学3年生から英語を習い始めて、どんどん英語が好きになっていました。中学校・高校では、今よりもっと英語が重要になってきます。中学校に入学したら、「小学校から英語を習っていた。」と自信を持って人に言えるくらい、英語が得意になりたいです。

英語の先生に習った“Don't be afraid of making mistakes!（間違うことを恐れないで！）”で、色々な事を学習していきたいです。



「The North Wind and the Sun」 石田 琉晴（自由が丘東小6年）

練習は大変で、本番前も余裕がありませんでした。最優秀賞で名前が呼ばれた時は、信じられませんでした。本当に嬉しかったです。賞品で頂いた電子辞書を毎日使っています。

ベストパフォーマンス賞

「The Happy Day」

占部 柚妃（緑が丘東小6年）



本番の数日前から緊張感でいっぱいでした。聴く人々にどうすればわかつてもらえるか考え、身振りを入れました。終わった後は、達成感を感じました。

審査員特別賞

「The Happy Day」

浦崎 克成（中吉川小5年）



英語が好きなのでチャレンジしました。次回は、もっと練習してうまく発表したいです。

教育長賞

「All about Me」

石田 陽晴（自由が丘東小4年）



練習で、大丈夫かなと心配でしたが、本番で練習通りできて良かったです。賞をもらって良かったなあと思いました。まさかでした。

国際交流協会賞

「The North Wind and the Sun」

前田 晴加（緑が丘小6年）



練習は沢山しました。本番は緊張しましたが、楽しかったです。賞を頂けてとても嬉しかったです。

国際理解講座「カンタ!ティモール～映画とミニコンサート～」

秋晴れの祝日、三木山森林公園で三木市UNESCO協会との共催で映画鑑賞とミニコンサートを開催し、90名近くの方々がご参集くださいました。

青く美しい海に浮かぶ島のシーンをバックに映画を製作した経緯のナレーションが流れます。ギターを奏でる青年と屈託のない笑顔の子ども達の歌声に続き、苦悩に満ちた現地の人々のインタビューの様子が映し出されました。

東ティモールを訪れた日本人女性がある青年の歌を聴き、帰国後も忘れられないその歌の意味を知るために再訪問。そして、現地の人々と交流する中で現地語を学び、インドネシア軍事統制下にひっそりと歌われた歌の意味と残酷な歴史を知りました。1975年に始まり1999年の解放まで続いた戦闘で3人に1人は亡くなったといわれ、西欧諸国をはじめ日本が少なからず関わったという事実を伝えようと彼女が監督として制作しました。

映画を通してこの事実を突きつけられ、無関心であったことを恥じ入りました。と同時に、未だに同様のことが世界各国で起こり、多くの悲劇を生みだしているにもかかわらず、過去の戒めが活かされていない現実を歯がゆく思いました。

II部のSANDHYAサンディハのコンサートでは、ギターとボーカルのIsaさん、インドの伝統楽器タブラのタカスダイスケさん、尺八とネパール伝統楽器BansuriのManabuさんの奏でるハーモニーが絶妙でした。サンディハの語源はサンスクリット語で『祈り』を意味します。この映画を推薦されたダイスケさんが
平和を願う気持ちを持ち続け、声を上げ続けることが重要だと語られました。



監督:広田奈津子

Canta! Timor

南国ティモール ひとつの歌に導かれた運命の旅

カンタ!ティモール

人類はひとつの兄弟なのさ
父もひとり、母もひとり
大地の子ども
憎んじゃだめさ、叩いちゃだめ
戦争は過ちだ、大地が怒るよ。

映画鑑賞された方達の感想

- 東ティモールの人々の許す心に感動した。
- 独立運動には多くの死者が出る。日本のインドネシア援助が多く武器を購入し、東ティモールの人々を殺戮したのですか。平和の尊さを思います。
- 全ては人間の行為。どの民族も同じ。いつの時代も。
- 以前観たことのある映画でもう一度観たかった。これから時代に必要な考え方だと思う。
- つい最近の出来事なのに全く知らなかった。豊かさとは何か考えさせられました。戦争は絶対にしてはいけない。
- 物のない生活と物はたくさんあるのに、それらが本当に必要なものかわからなくなっている私たちの生活について考えさせられた。
- 悲しみが怒りに繋がらない心の真の強さを一人一人が持てるよう願う。知らなかつたことを知ることの大切さ。大地と共に生きることの意味。多くの方に観てもらいたい映画である。
- 國際政治への理解が深まった。
- 欲望が人間を善人にも悪人にも変える。コンサートでは、自然を感じる心に響く音色だった。
- 現地の人々が口々に言う「仕返しをしない。怒ってはいけない。」それらを他人に対して抱かないよう自分の心に言い聞かせた。人を恨まない、戦いを挑まない、そんな境地になりたい。



「H27三木市総合防災訓練～第35回防災フェスタ～」に参加して

三木市・三木防火協会主催の総合防災訓練において「1次避難訓練」に外国人住民と日本語ボランティアが参加しました。当協会「ことばの教室・日本語クラス」に在籍する中国人3名、インドネシア人6名、ネパール人中学生1名がグループごとに仮想家族となり、地震発生直後の初動をシミュレーションしました。隣人は高齢者や障がいをお持ちの方、また、地震により負傷された方などで、組長の声掛けに従い、避難や救助活動を体験しました。

外国人住民にとって困難なことは、「日本語」です。この訓練では、日常会話が流暢な外国人でも、有事の際の特別な言葉、例えば、「発生」「避難」「救助」などを理解できませんでした。ましてや「負傷」「困難」「安否確認」「余震」などを理解する人は、数パーセントに満たないと推測します。活動中も言葉が聞き取れず、孤立している外国人グループも見られました。

訓練後の振り返りでは、前述の難しい言葉でなく＊やさしい日本語を使用することでトラブルを回避できると提案しました。最後に地域住民の前で外国人が日本語で自己紹介した時、皆さんが拍手を送ってくださり、多文化共生社会の一歩を実感しました。

***やさしい日本語** 普通の日本語よりも簡単で、外国人もわかりやすい日本語のこと。
地震などの災害が起きたときに有効なことば。

有効 文字表現でいうと、小学校の2、3年生で習う程度の漢字と平仮名およびカタカナによる表現。



消防体験をするネパール人中学生



簡易タンカを作るインドネシア就労生



アナウンスの指示に従うインドネシア就労生

「H27三木市総合防災訓練～第35回防災フェスタ～」に参加して A1698 アハマド ラビブレ マフトゥハン(インドネシア男性・在日9か月)

9月27日の日曜日、朝8時半、教育センターから、みんなで総合公園に行きました。9時から防災訓練がありました。いろいろな技術を勉強しました。

- ・もし地震があったら、どこに逃げますか？
- ・もし、あの人の上に壁が落ちたら、僕たちは何をしますか？どうしますか？
- ・どうやって逃げますか。

消化器の使い方も教えてもらいました。クイズもやって、プレゼントをもらいました。乐しかったです。12時に昼ご飯のカレーをもらい、友達と食べました。おいしかったです。



ことばの教室「日本語クラス」救急セミナー

今年で2回目となる外国人住民向けの救急に関するセミナーを消防署のご協力をいただき、開催しました。隊員4名のご指導の下、外国人学習者19名、ボランティア25名が参加し、心肺蘇生法(AED使用法)、救急車の要請法を体験しました。

事前にやさしい日本語で作成されたハンドアウトを使用し、「誰か来てください!」「救急車を呼んでください!」「AEDを持ってきてください!」と



まわりの人に協力を求めるシリア人

大きな声で叫び、まわりの人間に助けを求める訓練に取り組みました。真剣な面持ちで機敏に行動し、国籍や言語が違っても皆で協力する姿勢が見られました。



119番で救急車を要請するインドネシア人



2015/8/30 兵庫県広域防災センター屋内訓練場

兵庫県・播磨広域合同防災訓練 外国人のための避難所体験訓練に参加して

兵庫県主催の災害発生時における避難所での生活を体験する訓練が開催され、当協会からは、フィリピン人3名、中国人1名、タイ人1名と彼らの子供たち7名、外国育ちの日本人の計13名が参加しました。

避難所では、簡単な日本語で自己紹介の後、日本人と外国人が協力し、簡易ベッドや簡易トイレを作成し、使用する訓練をしました。また、救急時用の折り畳みリヤカーに子どもを乗せ、便利性を確認しました。

最後に今後の訓練に活かすため、参加者の意見を書き出し、発表しました。



ことばが
難しかった。

段ボールベッドが
丈夫で驚いた。

母国にはない
訓練で
興味深かった。



避難所で説明を聞くフィリピン人家族



簡易ベッドの強度を確かめる
外国人の子どもたち

カナダ旅行「三木市で出会った友人を訪ねて」

A1009 辻 恵子
(英会話クラス受講生)

協会のことばの教室「英会話中級クラス」で共に学ぶ津田晴子さんと私がバンクーバーに5日間の旅をしたのは、三木市のALTであり、私達にとって「英会話」の先生であったKerry(ケリー)とTrevor(トレヴァー)の2人が現在偶然にも、プリティッシュコロンビア大学で大学院生として学びバンクーバーに住んでおられる理由からでした。

バンクーバーは大都会でありながら、同時に大自然に恵まれた豊かで落ち着いた街でした。海と山々が白いビルディング群と巧く調和しており、都会なのに豊かな自然を感じられるところです。街中にいてもそよ風が優しく私たちの体を包んでくれるのです。若い二人の先生は、バイトもしながらのハードな学生生活の中でしたが、私たちのために時間を割いてくださり、熱っぽくカナダについて語り、市内観光案内や森や湖へのハイキング、そして穏やかな広いビーチでカナダ人や日本人の友人ととのバーベキューもしてくださいました。そのビーチの細波の音の中で観た美しい日没は言葉では形容できません。

私達は、二人の先生に歓待され、とても充実した日々を送りました。帰国後に頂いたメールに、自分達が日本人を尊敬しており、友人となつてもらった事を大変ありがたく思っているとありました。バンクーバーそのものも素敵でしたが、やはり人間の相互の理解が人生には一番大切と再確認したものです。



森と湖のハイキング
中央男性 Trevor(カナダ) 左Kerry(ジャマイカ)



トレバーさんの友人と一緒にBBQを楽しみました

FMみっきいに生出演!

2015年7月までALTとして市内の小中学校で勤務されたアメリカ出身のDavid Cobbさんが、FMみっきいにゲスト出演されました。

母国の大学で習得された日本語が流暢と言っても、来日直後は、文化や習慣の違いに戸惑いがあったことなどエピソードを交えてお話をされました。声優を目指しておられるので、将来、アニメーションフィルムなどで彼の声を耳にする日が来るかもしれません。



12月～3月までの事業予定

12/13	2015 クリスマスパーティ in Miki
2016年 1月17日	国際理解講座 「人見知り看護師 海外へ行く～ベナン&スー丹」
2016年 2月7日	国際理解講座 「COOL MIKI ‘英語de落語’ ‘日本語de発表’」
2016年 2月21日	国際料理教室「タイの家庭料理」
2016年 3月13日	ことばの教室ジョイントミーティング
2016年 3/21～28	姉妹都市交流 「豪州コロワ市へ市民訪問団派遣」

金物まつり‘国際チャリティバザー’

11月7日・8日

242,000円

海外の必要とされているところへ募金します。

募金先
自然災害の被災地、未就学の子供たちのための学校建設など。



**参加
無料**

平成27年度 第3回国際理解講座
1月17日(日)13:30
三木市教育センター4階中研修室



人見知り看護師 海外へ行く
～ベナン&スー丹～

講師：神木 英里さん（三木市出身）



【経歴】2011年～2013年／青年海外協力隊看護師隊員として西アフリカ・ベナン共和国へ派遣、2013年／長崎大学熱帯医学短期研修課程受講、2013年～2014年／NPOメンバーとしてスー丹へ派遣、2014年／北摂磨総合医療センター勤務

申込 下記の三木国際交流協会
電話又はファックス・E-mailでどうぞ！ 締切 1月8日
まで

オーストラリア・コロワ市 市民訪問団募集

姉妹都市コロワ市の街で、ホームステイや市内見学などを通じて、地元の方との交流を深めませんか？！観光旅行では味わえない、思い出に残る体験の機会です。



訪問期間 2016年3月21日(月)～3月28日(月) 7泊8日
ホームステイ4泊 ホテル(シドニー)1泊

応募資格 市内在住・在勤・在学(15才以上。未成年の方は保護者の承諾が必要)

募集人員 10名

その他、参加費用等の詳しい情報・お問い合わせ・

募集期間 12/17(木)まで

お申し込みは、下記の三木市国際交流協会まで

COOL MIKI

2016.2.7 日 三木山森林公園
「音楽ホール」

第1部 英語 de 落語

開演／13:00～(受付12:30)



龍泉
彼方



笑福亭
松枝



笑福亭
縁



加奈出庵
クリス

入場料

会員／無料(要予約)

一般／前売 500円、当日 1,000円

第2部 日本語 de 発表

無料

開演／15:15～

「英語de落語」に引き続き
ご聴聽ください。

お問い合わせ・申し込みは、下記 三木市国際交流協会まで

FMみつきい放送 毎月第1火曜12:15～

11月～2月 キッズイングリッシュ
暗唱大会受賞者発表 P2を
ご参照下さい

編集あとがき



会員の皆様のご支援、ご協力のもと半期の事業を終えることができました。心より感謝いたします。

さて、今年は、起業家の入会や、キッズイングリッシュ暗唱大会の高校生による司会進行や英語プレゼンテーションなど、前途有望な若い方が関わってくださいました。外国人対象の日本語クラスには、研修生や実習生、さらにビジネス関係で来日の中東の方も増えています。内戦で国を追われた方々の話は、もはや遠い国の話ではないようです。

今後も当協会が地域住民と外国人住民間のコミュニティ活動の基盤となり、さらに異文化交流、多文化共生が促進されるようにと願っています。

編集・発行

三木市国際交流協会

Miki International Association

〒673-0492 三木市上の丸町10-30(市民ふれあい部 市民協働課内)

TEL (0794) 89-2318

FAX (0794) 82-9755

【E-mail】 kokusai@city.miki.hyogo.jp

【HP】 三木市国際交流協会

検索